

各 位

2026 年 8 月 12 日
株式会社リットーミュージック

ギター・マガジン 2026 年 9 月号は本日発売！
特集は 80P に及ぶ“教養としてのテレキャス学”



インプレスグループで音楽関連のメディア事業を手掛ける株式会社リットーミュージック（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：松本大輔）は、『ギター・マガジン 2026 年 9 月号／教養としてのテレキャス学』を、2026 年 8 月 12 日に発売しました。

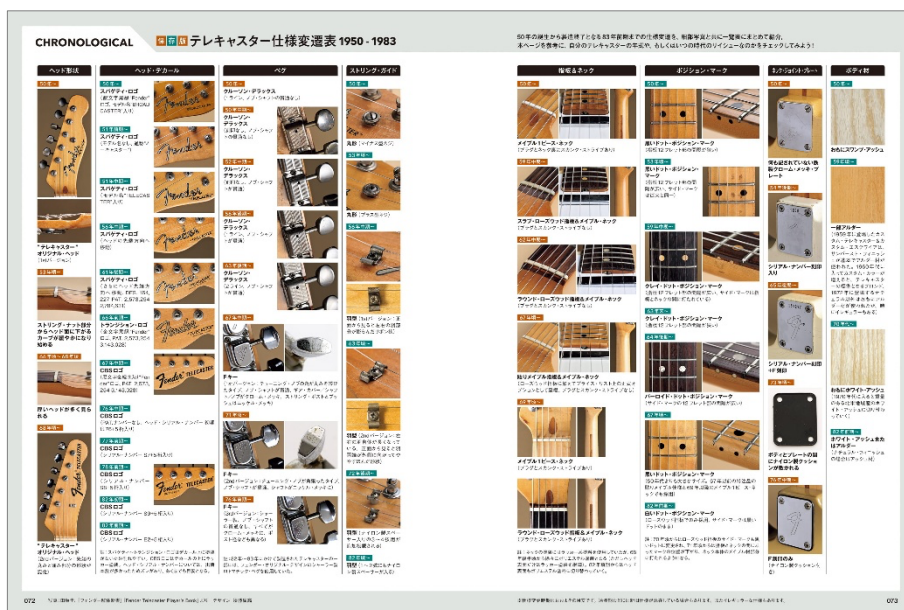
ストラトキャスター編、ビートルズ編に続く、大好評のギター・マガジン教養シリーズ第 3 弾は、フェンダー・テレキャスターがテーマ。1951 年にテレキャスターという名前を冠して以来、世界初の量産型エレクトリック・ギターとしてロックの歴史を切り拓いてきたこのギターは、誕生から 75 年が経過した 2026 年の現在も、その不変のフォルムを変えることなく、“エレキ・ギターの原点”として世界中のギタリストに愛され続けています。2 ピックアップ仕様で、ストラトキャスターのようなトレモロ・アームやコンター加工を持たない、実にシンプルな設計。しかし、そこから放たれる“テレキャスにしか出せない潔いサウンド”は、ほかのギターとは一線を画す魅力があります。まさに“シンプル・イズ・ベスト”を体現するこの名器を全 80 ページにわたって深掘りしていきます。

幻のブロードキャスターやノーキャスターを含む主要な年代のテレキャスターを紹介するほか、テレキャスター・シンラインやカスタム、デラックスなどの派生モデルが生まれた背景と歴史、

1951～1983 年までの細かな仕様変遷表、テレ愛用者である橋本絵莉子と曾根巧の 2 人による現行 12 機種種の試奏レビュー、プロ・ギタリストやルーツに詳しい識者たちがテレキャスターに関する素朴な疑問に答える Q&A 企画など、テレキャスター尽くしの一冊となっています。

第 2 特集は、戦後の日本ジャズ黎明期から 70 年以上、93 歳で亡くなる最期までプロとしてステージに立ち続けた巨人、中牟礼貞則の追悼企画。ジャズ・ギターが日本に根づくための土壌を作った偉人の歩みを振り返ると共に、小沼ようすけや井上銘といった後進ギタリストたちからの追悼メッセージも掲載。彼らのコメントからも、ジャズ・シーンにおける中牟礼の存在の大きさを改めて感じ取れることでしょう。





■書誌情報

書名：ギター・マガジン 2026 年 9 月号

定価：1,400 円（本体 1,540 円＋税 10%）

発売：2026 年 8 月 12 日

発行：リットーミュージック

商品情報ページ <https://www.rittor-music.co.jp/magazine/detail/3126111005/>

■CONTENTS

●表紙／SPECIAL PROGRAM

75th Anniversary

教養としてのテレキャス学

○テレキャスター博物館

- ・ 1950 BROADCASTER
- ・ 1951 NOCASTER
- ・ 1951 TELECASTER
- ・ 1954 ESQUIRE with Bigsby
- ・ 1965 TELECASTER Maple
- ・ 1965 TELECASTER Rosewood
- ・ 1966 CUSTOM TELECASTER Firemist Gold
- ・ 1968 TELECASTER Sonic Blue
- ・ 1968 TELECASTER Blue Floral
- ・ 1968 TELECASTER Paisley Red
- ・ 1970 ROSEWOOD TELECASTER
- ・ 1971 TELECASTER with Bigsby Sunburst
- ・ 1971 CUSTOM TELECASTER Olympic White
- ・ 1972 TELECASTER Candy Apple Red
- ・ 1978 TELECASTER Antigua
- ・ 1968 TELECASTER THINLINE

・ 1974 TELECASTER CUSTOM

- テレキャスター解剖写真
 - テレキャス・ファミリーの歴史
 - 仕様変遷一覧
 - Q&A 形式でプロ & 識者が答えます！
- テレキャスターにまつわる 30 の基本常識。

●THE INSTRUMENTS

厳選 12 モデルから知る

テレキャスター最前線 feat.曾根巧&橋本絵莉子

●SPECIAL PROGRAM 2

追悼 中牟礼貞則

●INTERVIEW & GEAR

- ・ 山内総一郎
- ・ ichiro

●INTERVIEW

- ・ 橋本絵莉子
- ・ 君島大空

●GM SELECTIONS

- ・ 「帰ってほしいの (I Want You Back) 」 ジャクソン 5
- ・ 「カントリー・ボーイ」 アルバート・リー

●OPENING ACT

- ・ トスモト (ニソクサンモン)

●PICKUP

- ・ ねぎ塩豚丼 meets Positive Grid Spark EDGE

●連載

- ・ フェンダーカスタムショップに憧れて
- ・ トモ藤田の“ギターは一日にして鳴らず！”
- ・ 鳥居真道の古今東西ルーツ探究記
- ・ 崎山蒼志の“未知との遭遇”、他

●NEW PRODUCTS REVIEW

- ・ FENDER / LIMITED EDITION ACOUSTASONIC STANDARD JAZZMASTER
- ・ GIBSON CUSTOM / 1971 MEDALLION V REISSUE
- ・ PAUL REED SMITH / SE ED SHEERAN HOLLOWBODY I PIEZO BARITONE
- ・ DOPHIX / VENERE
- ・ LANEY / SUPERGRACE LOUDPEDAL
- ・ STRYMON / TIMELINE MX

●付録小冊子

新旧ヒット曲から学ギター上達ガイドブック

『弓木英梨乃の放課後エレキ部 Vol.10』（最終回）

- ・「言って。」ヨルシカ
- ・「Hey Joe」ジミ・ヘンドリックス

【株式会社リットーミュージック】<https://www.rittor-music.co.jp/>

『ギター・マガジン』『サウンド&レコーディング・マガジン』等の楽器演奏や音楽制作を行うプレイヤー&クリエイター向け専門雑誌、楽器教則本等の出版に加え、電子出版、映像・音源の配信等、音楽関連のメディア&コンテンツ事業を展開しています。多目的スペース「御茶ノ水 RITTOR BASE」の運営のほか、国内最大級の楽器マーケットプレイス『デジマート』やTシャツのオンデマンド販売サイト『T-OD』等のWebサービスも人気です。

【インプレスグループ】<https://www.impressholdings.com/>

株式会社インプレスホールディングス（本社：東京都千代田区、代表取締役：塚本由紀）を持株会社とするメディアグループ。「IT・デザイン」「音楽」「山岳・自然」「航空・鉄道」「モバイルサービス」「学術・理工学」を主要テーマに専門性の高いメディア&サービスおよびソリューション事業を展開しています。さらに、コンテンツビジネスのプラットフォーム開発・運営も手がけています。

以上

【本件に関するお問合せ先】

株式会社リットーミュージック 広報担当

E-mail: pr@rittor-music.co.jp